

同時資料配布先:

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2018年10月26日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

革新的環境技術シンポジウム 2018 ～長期低排出発展戦略の実現に向けたイノベーションの推進～ 開催のご案内

当機構は、標記のシンポジウムを12月19日、東京大学伊藤謝恩ホールにて開催いたします。

この10月にIPCCより1.5°C特別報告書が公表され、12月にはパリ協定の運用ルールが決められるCOP24がポーランドで開催されます。国内では、パリ協定で提出が求められている長期低排出発展戦略の策定が進められるなど、内外でパリ協定のもとでの温暖化対策推進に向けた取り組みが進められています。

このような情勢の中、本シンポジウムでは、将来の抜本的なCO₂削減のために不可欠な革新的なエネルギー・環境技術の開発や温暖化対策のシナリオ分析について、当機構の全グループ・センターから最新の研究成果をご報告いたします。

1. 開催趣旨

12月にポーランド・カトヴィツェで開催されるCOP24におけるパリ協定の運用ルールの合意に向け、その準備会合が5月にドイツ・ボンで、9月にタイ・バンコクで開かれ、活発な議論が行われました。また、10月にはIPCCより1.5°C特別報告書が公表されるなど、パリ協定に基づく温暖化対策の推進に向けた種々の取り組みが進められています。国内でも、4月にエネルギー情勢懇談会の提言、7月には第5次エネルギー基本計画が示され、これらを受けてパリ協定で提出が求められている長期低排出発展戦略の策定に向けた検討が本格的に進められていますが、将来の低炭素社会の実現のためには、温室効果ガスを抜本的に削減するイノベーションの創出が不可欠とされています。

当機構は、抜本的なCO₂削減を実現するための革新的なエネルギー・環境技術として、CCS技術^{※1}、バイオリファイナリー技術^{※2}、無機膜^{※3}を用いた分離・精製技術の研究開発や効果的な地球温暖化対策シナリオの作成・分析に取り組んでいます。本シンポジウムでは、これらの最新の研究成果について、当機構の全グループ・センターよりご報告いたします。

また、経済産業省大臣官房審議官の信谷和重様をお迎えして、「地球温暖化問題の現状と今後」(予定)と題してご講演いただきます。

さらに、ポスターセッションの時間を長めに設け、多くの方々に当機構の研究者とお話いただく機会を持っていただけるようにいたします。

※1 CCS: Carbon dioxide Capture and Storage. 発電所や製鉄所等の排気ガスからCO₂を分離・回収し地中に貯留する技術。

※2 バイオリファイナリー: バイオマスからバイオ燃料や化学品を生産する技術。

※3 無機膜: 水素社会に不可欠な水素の分離・精製などへの適用が期待されるセラミックや金属製の薄膜。

2. 開催概要

主催: 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)

後援: 経済産業省(予定)、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、
公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、
一般社団法人 日本エネルギー学会

日時: 2018年12月19日(水) 13:00-17:25 (開場 12:30)

会場: 東京大学 伊藤謝恩ホール(本郷キャンパス 赤門東隣り)

参加費: 無料

プログラム:

- ・招待講演: 地球温暖化問題の現状と今後(予定)
経済産業省大臣官房審議官(環境問題担当) 信谷 和重
- ・講演 1: 部門別 CO₂ ゼロエミッションに向けて
理事長 茅 陽一
企画調査グループ主席研究員 高木 正人
- ・講演 2: 技術革新による低エネルギー需要の可能性とその温暖化対策への影響
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
- ・講演 3: 高効率 CO₂ 分離回収技術の実用化に向けた取り組み
化学研究グループリーダー 中尾 真一
- ・講演 4: CO₂ 地中貯留の実用化に向けての圧入安全管理技術開発の取り組み
CO₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求
- ・講演 5: 持続可能な社会の実現を目指したグリーンバイオプロセスの開発
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
- ・講演 6: 水素社会を支える無機膜実用化への取り組み
無機膜研究センター長 中尾 真一

(詳細はリーフレットを参照願います。)

ポスターセッション:

14:40~17:00 の間、ご自由にポスターをご覧ください。

※座ってお話いただける「技術相談コーナー」も設けています。具体的なご相談事項のある方は、その旨ポスター説明員にお申し出ください。

3. 参加登録

参加を希望される方は、RITE ウェブサイト <http://www.rite.or.jp> よりお申し込み下さい。

4. プレス登録

取材を希望される報道関係の方も、事前に参加お申込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先：

(公財) 地球環境産業技術研究機構

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 中村、大西、辰巳

TEL : 0774-75-2301 FAX : 0774-75-2314

Innovative Environmental Technology Symposium 2018

革新的環境技術シンポジウム 2018

～長期低排出発展戦略の実現に向けたイノベーションの推進～

2018年12月19日 水 13:00～17:25 (受付開始 12:30)

伊藤謝恩ホール(東京大学) **入場無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援(予定)：経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、
一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会

SCOPE

12月にポーランド・カトヴィツェで開催されるCOP24におけるパリ協定の運用ルールの合意に向け、その準備会合が5月にドイツ・ボンで、9月にタイ・バンコクで開かれ、活発な議論が行われました。また、10月にはIPCCより1.5℃特別報告書が公表されるなど、パリ協定に基づく温暖化対策の推進に向けた種々の取り組みが進められています。国内でも、4月にエネルギー情勢懇談会の提言、7月には第5次エネルギー基本計画が示され、これらを受けてパリ協定で提出が求められている長期低排出発展戦略の策定に向けた検討が本格的に進められています。将来の低炭素社会の実現のためには、温室効果ガスを抜本的に削減するイノベーションの創出が不可欠とされています。

当機構は設立以来、抜本的なCO₂削減を実現するための革新的なエネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてきました。本シンポジウムでは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、全グループ・センターの最新の研究成果をご報告いたします。

プログラム

12:30	受付開始	
13:00 ~ 13:05	開会挨拶	理事・研究所長 山地 憲治
13:05 ~ 13:35	招待講演	地球温暖化問題の現状と今後(予定) 経済産業省大臣官房審議官(環境問題担当) 信谷 和重
13:35 ~ 14:05	講演 1	部門別 CO₂ゼロエミッションに向けて 理事長 茅 陽一 企画調査グループ主席研究員 高木 正人
14:05 ~ 14:40	講演 2	技術革新による低エネルギー需要の可能性とその温暖化対策への影響 システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
14:40 ~ 15:10	コーヒーブレイク	
15:10 ~ 15:45	講演 3	高効率 CO₂分離回収技術の実用化に向けた取り組み 化学研究グループリーダー 中尾 真一
15:45 ~ 16:20	講演 4	CO₂地中貯留の実用化に向けての圧入安全管理技術開発の取り組み CO ₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求
16:20 ~ 16:55	講演 5	持続可能な社会の実現を目指したグリーンバイオプロセスの開発 バイオ研究グループリーダー 乾 将行
16:55 ~ 17:20	講演 6	水素社会を支える無機膜実用化への取り組み 無機膜研究センター長 中尾 真一
17:20 ~ 17:25	閉会挨拶	専務理事 本庄 孝志

ポスターセッション

コーヒーブレイクの時間から 17:00 までの間、ご自由にポスターをご覧いただけます。

説明員もおりますので、お気軽にご質問下さい。

※座ってお話いただける「技術相談コーナー」も設けています。具体的なご相談事項のある方は、その旨ポスター説明員にお申し出ください。

アクセス

東京大学 本郷キャンパス
伊藤国際学術研究センター

地下 2F 伊藤謝恩ホール

■ 東京メトロ丸の内線「本郷三丁目駅」より徒歩 8 分

■ 都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」より徒歩 6 分

お申し込み

RITE ウェブサイト

<http://www.rite.or.jp> よりお申し込みください。

